



1月・2月・3月の行事日程一覧

1月22日（日）【測量調査】（要申込）
「山手銀山城測量調査」

1月28日（土）【記念講演会】
「わが国の砂防史における別所砂留の位置づけ」

1月28日（土）【年始恒例】（同封のハガキで出欠）
「平成29年度総会 in 備後遺族会館」

1月28日（土）【年始恒例】（同封のハガキで出欠）
「新年会 in 備後遺族会館」

1月29日（日）【分布調査】（要申込）
中世石造物調査「瀬戸町」

2月4日（土）【ぶら探訪46】（要申込）
「《新市町相方編》潮崎山古墳を訪ねる」

2月12日（日）【測量調査】（要申込）
「山手銀山城測量調査」

2月19日（日）【徒歩例会】（要申込）
「いざ三原へ！～小早川隆景 三原城跡探訪」

2月26日（日）【分布調査】（要申込）
中世石造物調査「本郷町」

3月4日（土）【ぶら探訪47】（要申込）
「福山城外堀をぐるっと巡る～街に埋もれた痕跡を探して～」

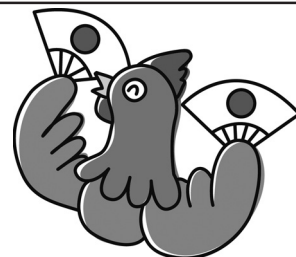
3月25日（土）【青春18きっぷの旅】（予定）
「三江線に乗る」

1月14日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
1月15日（日）【古文書解読会】
2月11日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
2月18日（土）【中世史部会】「中世を読む」
2月24日（金）【古文書解読会】
2月25日（土）【古代史部会】「古墳講座」

- ◎1月の「古文書解読会」は第3日曜日の午前中です。
なお1月から講座ではなく解読会の開催となります。
 - ◎2月の「中世を読む」はふくやま市民交流館です。
 - ◎2月の「古墳講座」は特別講座として、岡山で博物館見学です。
- 以上、おまちがえなきよう、ご注意ください。

2017（平成29） 行事案内 1月号

備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。
（会則第1章第2条より）



行事参加の お申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

- ◎公式サイトの参加申込フォーム
「<http://bingo-history.net>」
- ◎事務局へメール
「info@bingo-history.net」
- ◎田口会長宅へ電話
「084-953-6157」

〔備陽史探訪の会事務局〕

〒720-0824
広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX 084-953-6157
E-mail info@bingo-history.net

公式サイト
<http://bingo-history.net>

新しい年を迎えて

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、ご案内の通り、備陽史探訪の会は、

栄えある山陽新聞奨励賞を受賞いたしました。

受賞理由は、我々が会則で高く掲げた「備後を中心と

した地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する」理念が

認められ、古墳ロードの整備や史跡めぐりのモデルコース

作りなど、市民に対する歴史に対する「興味喚起に」貢献した

こととあります。

これらの事業は一朝一夕に出来たものではありません。36年

に及ぶ会の歴史の中で、多くの会員の皆さんの協力によってな

されたものです。受賞にあたり、改めて過去の足跡を踏みしめ

たいと思います。さらに、今回の受賞は我々の会に新たな大き

な責任を課したものです。栄えある賞の名を貶さないように、

新たな第一歩を記したいと思います。この一年が充実した

年になることを祈念して、新年のご挨拶としていただ

きます。

平成29年正月

備陽史探訪の会会長 田口義之

年会費納入のお願い

備陽史探訪の会は会計及び各行事などすべて1月1日始まり12月31日で締める暦年で活動しています。

平成28年分の年会費納入用の振込取扱票を今回の行事案内に同封しております。2月末までにお振込みをお願い申し上げます。

一般会員 4,000円 夫婦・親子会員 5,000円

大学生・専門学校生会員 2,000円

何卒、よろしくお願いいたします。

1 月 28 日 (土)

新年恒例

記念講演会

【日 時】 1 月 28 日 (土) 午後 2 時～3 時半

【場 所】 ふくやま草戸千軒ミュージアム 地下講堂
(広島県立歴史博物館 福山市西町 2-4-1)

【演 題】 『わが国の砂防史における別所砂留の位置づけ』

樋口 輝久 氏 (岡山大学大学院 准教授)

会員でない方も入場できます。(会費無料)
事前申込不要。直接会場
で受付いたします。

PONT

現在実施している別所砂留の調査結果をふまえ、近世から近代にかけてのわが国を代表する砂防施設を紹介しながら、砂防史における別所砂留の技術的価値、歴史的価値について概説します。

芦田町福田の別所砂留は 2009 年に地元の人が調査を初め、地域住人の手で整備が進み、徐々に全貌が現されてきました。2012 年には広島県の調査が入りました。それまで広島県でも把握されていなかった砂防ダムの実態が明らかになりました。そして、2014 年より岡山大学の調査開始。樋口准教授はその頃より調査に参加されていました。それと併行してさらに整備活動は活発化。2015 年には福山で初の「平成 27 年度選奨土木遺産」に認定。土木遺産として後世に伝える意義のある施設として認められました。また 2016 年には土木学会による「市民普請大賞グランプリ」を受賞。ここでも、地域の人たちの長年の努力と共に別所砂留が「国内有数の土木遺産」であることが認められました。樋口准教授は今でも別所砂留や新たな砂留の調査に継続して携わってらっしゃいます。今まであまり焦点が当たることがなかった「土木の歴史」。その中で砂留がどういうものだったのか、よりリアルなお話が聴けるのではないのでしょうか。ふるってご参加くださいませ。

会報 193 号の案内で開演時間を午後 1 時半～にしておりましたが、午後 2 時～に変更になりました。おまちがえなきよう、よろしくご了承ください。

総 会

講演会終了後、備後遺族会館へ移動します。

【日 時】 1 月 28 日 (土) 午後 3 時 45 分～4 時 45 分

【場 所】 備後遺族会館 (丸之内)

【議 題】 ◎平成 28 年度事業報告 ◎平成 28 年度決算報告
◎平成 29 年度行事計画 ◎平成 29 年度予算案 ◎その他

ハガキで
返信

新年会

総会終了後、開催。

【日 時】 1 月 28 日 (土) 総会終了後、開催します。

【場 所】 備後遺族会館 (丸之内)

【会 費】 2,000 円 (飲み物付)



ハガキで
返信

それぞれの出欠について、同封のハガキで
1 月 19 日までに必ず返信お願いいたします。

1 月 22 日(日)

測量調査

山手銀山城測量調査

山手銀山城の測量調査が始まります。測量してみたい方、見学だけの方、初めての方の参加も歓迎です！

【集 合】 午前9時
里山広場（弘法の水の南側）

要
申込

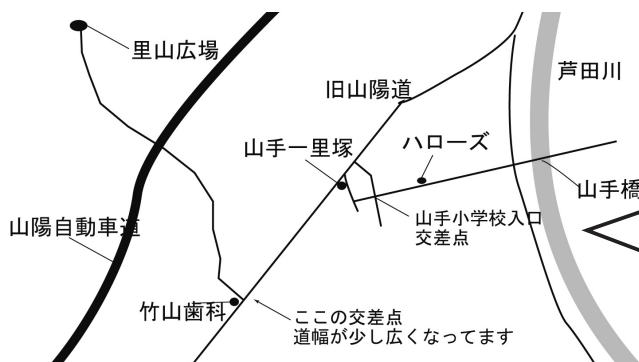
【その他】

※午後4時頃解散予定。

※お弁当・飲み物・筆記用具を持参してください。

※雨天の場合は中止します。

※なお、次回は2月12日（日）に実施予定。



1 月 29 日(日)

分布調査

中世石造物調査

一月は、瀬戸町を調査します。

事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。

【集 合】 午後1時30分
サファ福山 駐車場
(福山市瀬戸町山北300)

要
申込

【その他】

※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認をお願いします。

※なお、次回2月26日（日）は本郷町で実施する予定です。

平板測量を用いた
縄張図の作成を行います。
経験のない方、見学だけの
方もOK！山城に興味のある
方ならどなたでも
参加できます。

中世石造物調査、
山手銀山城測量調
査とも、どなたで
も参加できます。
お気軽にどうぞ。

2 月 4 日(土)

ぶら探訪 46

《新市町相方編》 潮崎山古墳を訪ねる

【集 合】 午前9時
福塩線上戸手駅
(JR福山駅発8時17分発乗車、320円)

要
申込

【参加費】 100円（会員） 300円（一般）

【主な見学地】

潮崎山古墳、廃慶徳寺跡、など

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。



幻の！『山城探訪』 復刻迫る！

今から22年前、備陽史探訪の会が総力を挙げて調査・刊行した『山城探訪』がいよいよ復刻されます。

『山城探訪』は備陽史探訪の会の創立15周年を記念して発行されたもので、大きな反響を呼びました。新聞のベストセラー欄に3週連続登場し、初版は瞬く間に売り切れ、2版も1年足らずで売り切れ、長く「幻の書」として山城マニア垂涎的となっていました。このたび満を持しての復刻となりました。

収録山城は、神辺城や相方城、亀寿山城など、福山周辺の代表的な山城を30城。この機会に是非ご購入ください。

平成29年1月末再刊予定
予定価格1冊1500円

次号の会報で詳しくご紹介します。
お楽しみに！

2 月 19 日(日)

徒歩例会

瀬戸内三原築城 450 年事業協賛行事

いざ三原へ!! ~小早川隆景 三原城跡を探訪する~

要
申込

【集 合】 午前 9 時 30 分

JR 三原駅改札口前 (少雨決行)

※福山駅からは 08:32 糸崎行に乗車。

糸崎にて岩国行に乘換え、09:17 三原着
(大人片道 580 円)

【参加費】 300 円 (会員) 500 円 (一般)

【募集数】 50 名

【講 師】 沖 正明

【主な見学地】

- ①三原城天守台跡とそれを取り巻く 3 方の石垣・通り丁堀
- ②通り丁堀西側「通り丁」整備地区・後東門横石垣
- ③東礼門跡・内堀・五番櫓・舟入櫓跡石垣・岩礁
- ④本丸中門跡・二の丸西側の石垣線
- ⑤みはら歴史館
- ⑥蓮堀跡・河原谷川
- ⑦東大手門跡・芦堀跡・和久原川水刼 (はね)
- ⑧東築出堀跡

【その他】

※全行程は約 4.5km。平地で舗装された道を歩きます。歩き易い服装・靴で参加下さい。

※弁当飲料持参。昼食・休憩は三原城跡歴史公園。

ただし、雨天の場合はイオン三原店を予定。

イオンの食品コーナーでは弁当・寿司・パン等あらゆる食品を販売しており、内部に多くの食事処、便所、休憩場所があり、利用できます。

※午後 3 時 30 分頃「JR 三原駅」前解散予定。(15:31 三原発～16:17 福山着))



三原城は永禄 10 年 (1567 年)、毛利元就の三男・小早川隆景によって、大島・小島をつないだ埋め立て地に建てはじめられたと伝わっています。

現在は天主台や舟入櫓の一部しか残っていませんが、当時は、東は湧原川から西は臥龍橋付近まで約 900 m、南北には約 700 m もの長さだったといわれています。この中に本丸、二の丸、三の丸があり、櫓が 32 と城門が 14 もあるとても大きな城でした。特に天主台は広島城の天守閣が 6 つも入る日本有数の広さです。

満潮時に城の姿が海に浮かぶように見えたことから別名「浮城」とも呼ばれています。(写真・文とも三原市 HP より)

3 月 4 日(土)

ぶら探訪 47

福山城外堀をぐるっと巡る ~街に埋もれた痕跡を探して~

福山城の外堀跡を辿ります。市街地に残る僅かな痕跡を結んで、失われた姿を想像しつつ、のんびりと歩きます。見慣れた場所の中に新たな発見があるかもしれません。坂道の一切ない歩きやすいコースです。ので、お気軽にお越しください。

【集 合】 午前 9 時 30 分 ※雨天決行
広島県立歴史博物館前の公園

【参加費】 100 円 (会員) 300 円 (一般)

【講 師】 田中伸治 (近世近代史部会幹事)

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。
※解散は福山城北側 (11 時 30 分頃の予定)

予告

3 月 25 日(土) 青春 18 きっぷ

三江線に乗る旅です!

三江線 (さんこうせん) は、島根県江津市の江津駅から広島県三次市の三次駅に至る鉄道路線です。2018 年 3 月末をもって全線が廃止される予定となっています。今回の青春 18 きっぷの旅は、廃止前の三江線に乗る旅を企画! 江の川沿いに走る車窓の風景をご堪能ください! 廃止直前になると混雑が予想されますので、この機会にぜひ! ご参加ください。

なお、詳しい要項は 2 月発行の会報にて紹介します!

去る十二月十九日に備陽史探訪の会の田口会長は枝広市長に面会し、これからの福山についての提言をしました。その内容につきましましては、次の会報にてお知らせします。

田口会長 枝広市長に面会。

備陽史探訪の会がこのたび「第75回山陽新聞賞」の奨励賞文化部門を受賞しました。長年の郷土史に関する活動が評価されたようです。

これまでも、備陽史探訪の会では「福山文化賞」「広島文化賞」を受賞していますので、三つめの受賞です。

なお授賞式は一月十二日にあり、会長が出席します。この時の様子は次の会報にてお知らせいたします。

お楽しみに！

備陽史探訪の会が 山陽新聞賞受賞！

備後歴史研究会新聞

第11号

奨励賞 文化部門

備陽史探訪の会

福山市多治

埋もれた歴史を発信

備後、備中地域の歴史調査やフィールドワークに取り組む「備陽史探訪の会」。福山市内の郷土史愛好者5人が1980年に立ち上げ、現在の会員数は市内外の高校生から90代まで約300人に上る。

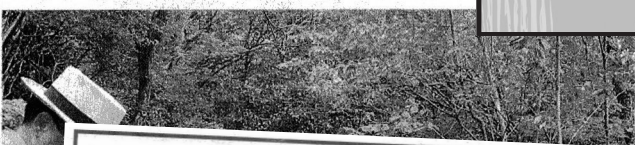
会には古代史、中世史、近世近代史の3部会があり、毎月集まって学習会を開催。成果を会報(年6回)や研究誌(年1回)にまとめて発信している。

地元の歴史に親しんでもらうと、住民向けに多様な事業も展開する。こどもの日(5月5日)に親子を対象に毎年開く歴

史ウォークは昨年、34回目を迎えた。2006、07年度には、同市駅家町から加茂町にかけて多数ある古墳を巡るモデルコース「福山古墳ロード」を設定。古墳、史跡の案内標識設置やパンフレット作りにも取り組んだ。

現在は、市内に残る中世の石塔、石仏の調査などを進めている。

創設メンバーの一人でもある田口義之会長(61)は「誰でも参加できるように間口を広く活動してきた。今後も埋もれた歴史の掘り起こしに努め、地元の良さを広く知ってもらいたい」と意気込んでいる。(洞井宏太)



第75回 山陽新聞賞

山陽新聞社は毎年、文化、社会、教育、学術、産業などの分野で、地域社会に貢献した個人、団体に「山陽新聞賞」「山陽新聞奨励賞」を贈り、功績をたたえています。

第75回は山陽新聞賞に個人8人、山陽新聞奨励賞に2団



体が決まりました。受賞者・団体には賞状、メダル(日本芸術院会員蛭田二郎氏制作)＝写真＝と賞金を贈ります。贈呈式は12日に岡山市内で開きます。

(受賞者の業績は20、21面に掲載。敬称略)

山陽新聞賞

文化

大原 れいこ(東京都)

佐藤 苔助(備前市)
＝本名・伊助＝

高木 聖雨(東京都)
＝本名・茂行＝

平田 稔(岡山市)

社会

堀井 茂男(岡山市)

教育

松畑 熙一(岡山市)

学術

山海 嘉之(茨城県)

産業

石賀 久(真庭市)

山陽新聞奨励賞

文化

備陽史探訪の会
(福山市)

社会

岡山ESD推進協議会
(岡山市)

地域への貢献たたえる

山陽新聞社

山陽新聞 2017 年(平成 29 年)
1 月 3 日(水曜日)

この山城
の備後
50選 11

源姓馬屋原氏の居城
固屋城跡

◎山城としての評価 B
◎登り易さ B
◎分り易さ B

所在地 神石高原町小畠
比高 約一五〇メートル
築城者 馬屋原氏

城の歴史 上総国から西遷した馬屋原氏によつて築かれ、以後同氏が毛利氏に従つて長州に移るまで、同氏の本拠として使用された。

馬屋原氏には、備前馬屋郷を苗字の地とし、志麻利庄の地頭として来住し、後に本城と小畠盆地を挟んで向かい合う九鬼城を本拠とした一族があり、それぞれ源姓、平姓を名乗り、出自の違いを強調している。

固屋城に居城したのは、源義家の弟加茂次郎義綱の後裔を称した一族で、伝承によれば、先



南から見た固屋城跡

に土着した平姓馬屋原氏を頼つてこの地に來住し、当初は南麓の「古殿」に固屋を造り、以後背後の山頂に築城して「固屋城」と号したという。平姓の九鬼城馬屋原氏と共に当初は宮氏に従っていたが、後毛利氏に属し、同氏の備中進出の先鋒となつて活躍した。

見どころ 北から小畠盆地に突出した尾根を利用して築かれた山城で、山頂の曲輪群をはじめ、周囲の堅堀群などが良好に残り、一部では石垣も使用されている。南麓の「古殿」と呼ばれている部分は「ツツジが丘公園」として整備され、後世の手が加わっているが、大きく二段の曲輪で構成され、その名の通り、初期の城郭はこの部分にあったことが推定される。

びんご歴史クイズ 21

↓点線で切り取ってハガキに貼って応募してください。

- ① 三次盆地に特に多いといわれる古墳の外形は何か？
イ) 前方後円墳 ロ) 円墳
ハ) 方墳 ニ) 帆立貝式古墳
- ② 戦国時代に頼大可島城に居城し「頼殿」と呼ばれた村上亮康はどの村上氏の出身？
イ) 能島村上 ロ) 来島村上
ハ) 因島村上 ニ) 田島村上
- ③ 水野氏の次に福山城主となった松平忠雅の出身はどの松平氏でしょうか？
イ) 越前松平 ロ) 久松松平
ハ) 長沢松平 ニ) 奥平松平
- ④ 尾道市の近代上水道敷設に多額の寄付をして尾道の名誉市民に列せられたのは誰？
イ) 山口玄洞 ロ) 小林和作
ハ) 平山角左衛門 ニ) 増三木半左衛門
- ⑤ 土木遺産に認定された「別所砂留」は現在のどんな施設に当たりますか？
イ) 治水ダム ロ) 利水ダム
ハ) 砂防ダム ニ) 発電用ダム

びんご歴史クイズ全問正解者に「ぶら探訪参加券」をプレゼント！6枚綴りになっており、しかも、会員・一般共通という太っ腹企画！（但し、換金、転売はご容赦を！）

全問正解者が多い場合は抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

○応募申込は

事務局宛てにハガキで応募、
（左の点線で切り取って答えに○してハガキに貼ってください。アンケートもよろしくお願いします）
もしくはインターネットの公式サイト
の応募フォームから
※電話での受付はありません。

○応募締め切りは

1月20日（月）まで

※正解と当選者の発表は会報193号で。

古代史部会	中世史部会	近世・近代史部会
「古墳講座」 (第 375 回) ◆2月 25 日 (第 4 土) ◆古墳講座「特別講座 古代吉備の名宝を見る」 ○今回は、新年特別企画として岡山県立博物館の特別展「吉備の名宝」展を見学します。 ・東京国立博物館 (上野) 収蔵の吉備の重要考古品 (備前車塚古墳出土品など) が、岡山に里帰りしています。 ・2月 26 日までの会期ですので、この機会にぜひ。 ○午後 1 時に、岡山駅中央改札口に集合。→そろって、県立博物館 (後楽園前) に向かいます。 ○なお、博物館までの交通費及び入館料 (250 円、65 歳以上 120 円) は、各自で負担ください。	「中世を読む」 (第 346 回) ◆2月 18 日 (第 3 土) 午後 2 時～ ◆ふくやま市民交流館 ※場所はいつもと違います。駐車場は福山市民参画センター第 2 駐車場をご利用ください。 ※内容は未定です。  「古墳講座」 「中世を読む」 どちらも 1 月は お休みします。	「近世福山を読む」 (第 47 回) ◆1月 14 日 (第 2 土) 午前 9 時 45 分 ◆福山市民参画センター 《第一部》講師 種本実 「教育者 枝益六と明治初期の小学校のあゆみについて 一啓蒙所から小学校へ」 《第二部》講師 高木康彦 「総奉行 神谷治部 その 3」 寛永 20 年 (1643) の飢饉による家中・領民への救済ならびに朝鮮通信使の饗応など神谷治部の活躍をご紹介します。 ◆2月 11 日 (第 2 土) 午前 9 時 45 分 ◆福山市民参画センター ◆講師 高木康彦 (部会長) ◆内容 「福山城下の上水道」前月の進行により変更もあります。

古文書解読会

初回のみ

**要
申込**



1月は第3日曜日の
午前中です。
お間違えなきように！

◆1月 15 日 (第 3 日) 午前 10 時～

◆場所 福山市民参画センター

【内容】「河本家文書」

◆2月 24 日 (第 4 金) 午後 7 時～

◆場所 福山市民参画センター

【内容】「河本家文書」

※テキスト代別途必要です。
※2017年1月からの新規受付は
会員のみとなります。
※古文書講座から古文書解読会に
変更になります。

上記各部会の講
座や古文書講座は参
加費 100 円を頂いてお
います。よろしくご協力くだ
さいませ。別途費用がかか
る場合もあります。(資
料コピー代など)



備陽史探訪の会

【事務局】

〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8

TEL&FAX 084-953-6157

E-mail info@bingo-history.net

公式サイト

<http://bingo-history.net>

会報 194 号原稿募集！

2月発行の会報 194 号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。1月 16 日 (火) までに事務局編集部まで。規定は 16 文字×120 行。(論文・論考は 16 文字×244 行程度)